

# 1級建築士(学科)の難易度分析表

## 1. 難易度別の模擬試験

- ・資格学校では、定期的に模擬試験を実施して、その全模擬試験者の中での順位などを示して、各自の実力を把握している。
- ・研究会の模擬試験は、過去問H21～R2までの問題を難易度別(容易、普通、難解)に分けて分析し、下記レベル1～3の模擬試験を作成した。
- ① 模擬試験レベル1:本試験と同等の難易度「レベル2」より**若干容易**(レベル2より容易問題数+5問、難解問題数-5問)
- ② 模擬試験レベル2:本試験(H21～H29)の問題を難易度別(容易、普通、難解)に分類・分析し、**本試験と同等**の難易度
- ③ 模擬試験レベル3:本試験と同等の難易度「レベル2」より**若干難解**(レベル2より容易問題数-5問、難解問題数+5問)
- ・各レベルの目標点は、レベル1=102点、レベル2=100点、レベル3=98点として、その点数ならほぼ合格圏に入ると推定している。
- ・更に、各模擬試験の点数が110点以上なら合格確実と推定している。
- ・資格学校のように全受験者の順位は分からないが、難易度別の割合による模擬試験により点数の結果が合否ラインの目安となる。
- ・この模擬試験を実施し、正解問題を評価表に入れることで、自動的に現時点での理解度が判明する(下図参照)。

1級建築士(学科)

(レベル1:本試験より若干容易、レベル2:本試験と同程度、レベル3:本試験より若干難解)

### 模擬試験レベル1の採点表

得点 94 点

<b>容易</b> (多くの方が解けた問題) = 目標 <b>100%</b> 正解	29 / 34 =	<b>85 %</b>
<b>普通</b> (半分の方が解けた問題) = 目標 <b>80%</b> 正解	54 / 69 =	<b>78 %</b>
<b>難解</b> (多くの方が解けない問題) = 目標 <b>60%</b> 正解	11 / 22 =	<b>50 %</b>

合計得点(目標102点)

このレベル1の問題は、容易が34問、普通が69問、難解が22問となっている。この正解数が水色部分であり、その正解率が示されている。各自が難易度別にどの程度できるかが分かる。

正解した問題は、下表の「0」を「1」に変更して下さい。

I 計画				II 設備				III 法規				IV 構造				V 施工			
NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解	NO	容易	普通	難解
1	1			1	1			1	1			1	1			1	1		
2			1	2	1			2	1			2	1			2	1		
3		1		3		0		3		1		3	1			3			0
4	1			4	1			4		1		4		1		4	0		
5		0		5			1	5			0	5			1	5			1
6	1			6			1	6			1	6			1	6	1		
7		1		7			1	7			1	7			0	7			1
8	1			8			1	8			1	8			1	8			1
9		1		9			1	9			1	9			0	9			1
10		1		10			1	10			0	10			1	10			0
11			0	11			0	11	1			11			1	11			1
12	0			12			1	12			1	12	0			12	1		
13		1		13			1	13			0	13			0	13			1
14		0		14	1			14			1	14			1	14			0
15	1			15			0	15			1	15	0			15			1
16			1	16			1	16			0	16			1	16	1		
17	1			17			0	17			1	17			0	17			1
18			1	18	1			18	1			18			1	18			0
19	1			19			0	19			0	19			1	19			1
20		1		20	1			20			1	20			1	20			1
								21			1	21			1	21	1		
								22	1			22				22			1
								23			1	23	1			23			1
								24			0	24			1	24			0
								25			1	25			1	25			1
								26			1	26	1						
								27			0	27			0				
								28			0	28	1						
								29			1	29				0			
								30	1			30			1				
正解数	7	6	3	正解数	5	8	2	正解数	6	16	0	正解数	5	14	3	正解数	6	10	3
問題数	8	8	4	問題数	5	11	4	問題数	6	19	5	問題数	7	18	5	問題数	7	13	5

不正解は0のまま

正解は1へ変更

学科別の難易度別正解数

- ① 容易 (I、II、III、IV、V)の正解数 29
- ② 普通 (I、II、III、IV、V)の正解数 54
- ③ 難解 (I、II、III、IV、V)の正解数 11

目標点	34 × 1 = 34 点	合計 102 点
	69 × 0.8 = 55 点	
	22 × 0.6 = 13 点	

目標点の根拠、容易は100%、普通は80%、難解は60%の正解を目指す

# 1. 過去問の難易度別の分析結果

- ・研究会は、新試験制度となったH21以降の問題について、難易度分析した(問題の難易度は研究会による独自判断)。
- ・「**容易**」問題は、殆どの方が解けた問題である。
- ・「**普通**」問題は、半分の方が解けた問題である。
- ・「**難解**」問題は、殆どの方が解けなかった問題である。

上記振り分けを基本として、各年度の各科目別に集計した。

- ① 「**容易**(殆どの方が解けた問題)」の出題確率は、**23%**(29/125)である。
- ② 「**普通**(半分の方が解けた問題)」の出題確率は、**55%**(69/125)である。
- ③ 「**難解**(殆どの方が解けなかった問題)」の出題確率は、**22%**(27/125)である。

模擬試験の点数に対する合格判断は、本試験の合格点が90点±4点であるが、模擬試験が過去問をランダムに難易度比率で作成したものであることから、100点を合格ラインと設定した。ただし、難易度別にレベル差を設けたことから以下の点数を合格圏としている。

- ・模擬試験レベル1:合格圏102点
- ・模擬試験レベル2:合格圏100点
- ・模擬試験レベル3:合格圏98点

合格圏の判断は、レベル2を基本としているが、その根拠は以下の集計の結果である。つまり、殆どの方が解けた**容易**は100%正解を目標として、同様に**普通**は80%、**難解**は60%とすると、**合計100点**となる。

- ・**容易**:29点×1.0=**29点**
- ・**普通**:69点×0.8=**55点**
- ・**難解**:27点×0.6=**16点**

また、各レベルの模擬試験で110点を超えるようであれば、**合格確実**と判断している。

本問題は、H21～R2の過去問の難易度別分析したものである。

表7 模擬試験のレベル設定における難易度出題数

学科	難易度	レベル1	レベル2	レベル3
		出題数	出題数	出題数
I 計画	容易	8	7	6
	普通	8	8	8
	難解	4	5	6
II 設備	容易	5	4	3
	普通	11	11	11
	難解	4	5	6
III 法規	容易	6	5	4
	普通	19	19	19
	難解	5	6	7
IV 構造	容易	7	6	5
	普通	18	18	18
	難解	5	6	7
V 施工	容易	7	6	5
	普通	13	13	13
	難解	5	6	7
合計		125	125	125

レベル2は平均的な難易度  
 目標は全レベル100点超え  
 (110点超えは合格確実)  
 別紙「採点表」で自己評価  
 「容易」問題は100%正解  
 ⇒29×1.0=29点  
 「普通」問題は80%正解  
 ⇒69×0.8=55点  
 「難解」問題は60%正解  
 ⇒27×0.6=16点  
 これで合計100点